

農事組合法人 こうざわら 高座原生産組合【津市美里町高座原地区】

- 徹底したコスト削減により、**条件不利地域で集落営農組織を法人化!**
- 獣害対策や空き家対策など、集落ぐるみで活動の輪を広げ**地域コミュニティを活性化!**

地域の概要

津市美里町は県の中北部に位置し、西側には布引山地に属する山岳地帯が連なっている。

高座原地区は、標高 819m の経ヶ峰の麓にある山村集落で、10a 程度と小区画で条件の悪い水田が多い。

水稻のほか転作作物として、小麦や大豆がブロックローテーションで栽培されている。



県外研修を実施し交流を深めている
(平成28年度小豆島研修)

取組の背景

農家の高齢化が進む中で、将来の耕作継続に不安を感じた集落の農家が話し合いを重ね、平成12年から中山間地域等直接支払を活用しながら、集落ぐるみでの農地の維持管理をスタートさせた。

平成14年には、小麦の栽培を行うため、集落営農組織として「高座原生産組合」が設立された。

取組のポイント

ポイント1 コストを削減する工夫により、条件不利地域で集落営農を組織化

- ・作業小屋などは自ら建設し、必要な機械は中山間地域等直接支払の交付金を積み立てて購入するなど、資金がない中で工夫しながら集落営農組織を立ち上げた。
- ・共同での草刈や自走式草刈機の導入、労力のかからない小麦への転換など、コストを削減する工夫を重ね、経営を軌道に乗せることができた。
- ・平成26年に法人化を図り、農地中間管理機構を通じて約7haの農地の集積を受け、小麦10ha（うち作業受託3ha）および大豆1haを栽培している。



自走式草刈機を用いて
草刈作業を省力化

ポイント2 田んぼと集落を守るため、獣害対策などの多様な活動を共同で実施

- ・集落ぐるみでの活動は農業をベースとしながら、獣害対策や空き家対策、老朽化した水路の補修、農道の補修、草刈りなど、多方面にわたっている。
- ・都市部からの移住者が多い集落であり、共同作業や作業後の交流会、行事等への積極的な参画により、地元住民との良好な関係が築かれている。
- ・農地の保全が円滑に進む中で、湿害に強い新規作物（レンコン、くろしんさい空芯菜など）の試験栽培にもチャレンジしている。

今後の展望

もうかる農業をめざし、新規作物の栽培だけでなく、直売所での販売にも取り組んでいく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県津農林水産事務所農政室地域農政課
電話 059-223-5102